

東京の観光振興策に関する意見 概要

2016年9月8日
東京商工会議所

I. 基本的な考え方

- 観光は、東京の成長、地域活性化の切り札として、幅広い関連産業に経済波及効果をもたらすとともに、地域社会の価値向上に重要な役割を果たす
- 2020年大会は、世界に東京の魅力をPRする絶好の機会であり、観光資源の磨き上げ、ハード・ソフト両面のインフラ整備を加速する必要がある
- 東京は、世界に冠たる観光都市として更なる発展が望まれると同時に、日本各地との連携を強化し、観光振興の効果を全国へ波及させることが重要
- 観光の持続的成長に向けた目標は、「旅行者数」のみならず、直接的な波及効果をもたらす「旅行消費額」「外国人リピーター数」を設定すべきである

II. 具体的な意見事項：今後の重点的な観光施策の展開

1. 消費拡大に向けた観光経営

観光を基幹産業に飛躍させていくためには、地域・中小企業におけるインバウンド対応強化、ICTの活用による生産性向上や人手不足の克服、また旅館を含めた宿泊施設の充実、産業の成長を促す規制改革が必要

- 地域・中小企業のインバウンド対応力向上
・多言語対応の強化、生産性向上に向けたICT導入
- 観光産業を担う人材の育成と確保
・産学連携の強化、外国人留学生の採用・定着支援
- 宿泊施設の充実と多様化
・新設更新の促進、旅館活用、健全な民泊の普及
- キャッシュレス旅行のための環境整備
- 統計の整備と観光ビッグデータの利活用促進
- 地域資源の活用と観光産業の担い手確保に向けた規制改革
・道路や河川空間の利用に係る手続きの簡素化
・地域限定旅行業への参入促進に向けた要件緩和
- 持続的な観光都市経営の実現に向けた体制整備

2. 観光都市・東京の更なる魅力向上

旅行者誘致を巡る都市間競争が激しさを増す中、観光の視点に立ったまちづくり、旅行者の関心に合わせた観光資源の磨き上げ・開発を進めることで「観光都市」としての更なる魅力向上を図る必要がある

- 観光の視点に立ったまちづくりの推進
・無電柱化・修景、歩行者・自転車走行空間整備
・バリアフリー化の推進、まちの安全・安心の確保
- 観光資源の磨き上げによる賑わい創出
・歴史的建築物・商店街の空き店舗等の活用促進
・都市公園を観光や賑わいの拠点として活用
- 新たな視点による魅力ある観光資源の開発
・舟運に関わる環境整備、船着場の利便性向上
・水辺の活用、ライトアップやナイトライフ観光の充実
- スポーツ・文化芸術・食文化に着目した観光資源の活用
・オリパラ文化プログラムと連動した観光振興の推進
- 地域の観光関連団体の活動の支援強化
・観光地域経営を推進するための継続的な支援

3. 魅力の発信と効果的な誘致活動

安定的に外国人旅行者を確保するためには、リピーターの拡大、欧米など多様な国からの誘客を進めていくことが不可欠。日本各地との広域連携を強化し、観光振興の効果を全国に波及させることも重要

- 東京ブランドの発信と観光プロモーションの戦略的な展開
・観光先進都市との相互PRの展開、ビジネスジェット受入環境改善、ローカルコンテンツの海外発信の強化
・官民が連携した東京ブランドの推進
・教育旅行など若者の旅行体験の促進
- ビジネス需要の拡大と地域活性化に向けたMICEの促進
・MICE施設機能の強化に向けた環境整備の促進
・文化施設等をユニークベニューとして積極的に活用
- 東京と日本各地の連携・相互交流の拡大
・広域観光周遊ルートの形成・構築の促進
・都内での地方の祭り・食のイベント等の開催
・教育旅行など東北地方への継続的な送客支援

4. すべての旅行者に快適な受入環境の整備

- 観光インフラの供給能力不足が外国人旅行者の訪都の制約要因とならないように、また国内の居住者・旅行者の不満解消のためにも、受入環境整備を加速させるべき
- 旅行者の安心・安全の確保は、観光振興の前提であり、自然災害発生時等における危機管理体制の強化、障害者や高齢者等が快適に旅行を楽しめる環境整備が急務

(1) 旅行者の急増に対応する供給能力の拡大

- 首都圏空港・東京港の機能強化
・空港容量の拡大、大型クルーズ客船ふ頭の整備推進
- 貸切バスの需給逼迫への対応と路上混雑の解消
- 文化芸術の集積を活かす環境整備の促進
・地域の祭りなど多様な文化芸術の集積を活かし東京全体の魅力を向上させ発信する取組の推進

(2) 外国人旅行者の利便性向上

- 通信環境の整備
・利便性の高い無料Wi-Fiの整備、維持管理への支援
- 観光案内機能の強化と通訳ガイドサービスの充実
・観光案内所におけるワンストップサービスの提供
- 公共交通機関等の共通パスの活用
・交通機関や文化・観光施設等での共通パスの導入

(3) 旅行者に対する安心・安全の確保

- 観光危機管理体制の強化
・災害対策の推進、医療機関の外国語対応の強化
- インバウンドの旅行手配を行うツアーオペレーターの質の向上
- アクセシブル・ツーリズムの充実
・障害者や高齢者等が快適な旅行を楽しめる環境整備